

新型コロナウイルス感染症に伴う 事業者の影響調査 (5月分)

- 1 調査時点
令和4年5月31日
- 2 調査対象
商工会議所及び商工会の会員の約2%を調査対象として抽出
- 3 調査方法
商工会議所及び商工会が、調査票の配付、聴き取りにより実施
- 4 今後の予定
当面、毎月実施予定

岩手県商工労働観光部経営支援課

新型コロナウイルス感染症に伴う事業者の影響調査(5月分)

Q1 貴社の業種を教えてください。

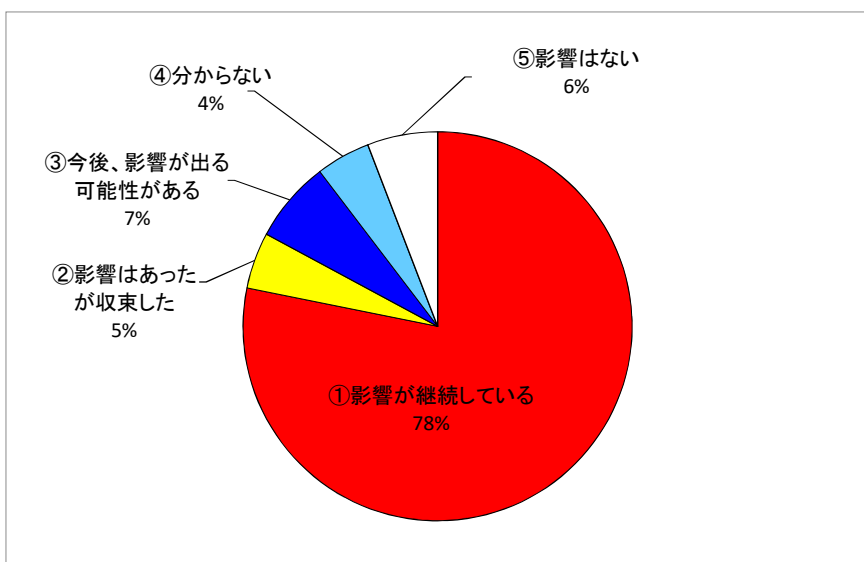
業種	回答企業数	構成割合
飲食業	74	13.9%
宿泊業	44	8.3%
サービス業	88	16.5%
小売業	91	17.1%
卸売業	29	5.5%
製造業	65	12.2%
建設業	66	12.4%
運輸業	25	4.7%
その他	50	9.4%
合計	532	100.0%

Q2 新型コロナウイルス感染症の感染拡大による御社の経営への影響はありますか。

【コメント】

「①影響が継続している」が78.2%、「②影響はあったが収束した」が4.7%、「③今後、影響が出る可能性がある」が6.8%となっている。

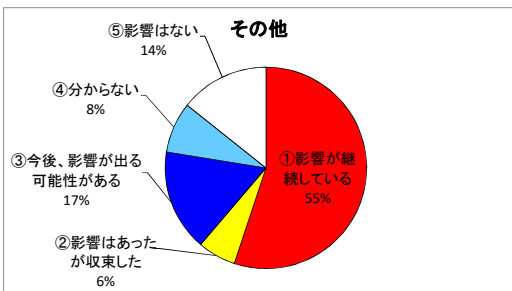
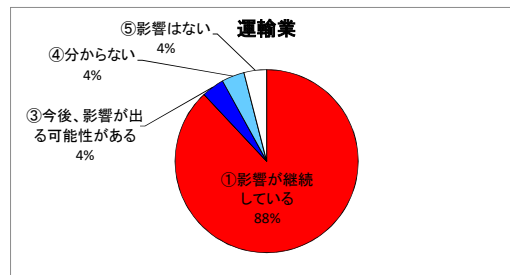
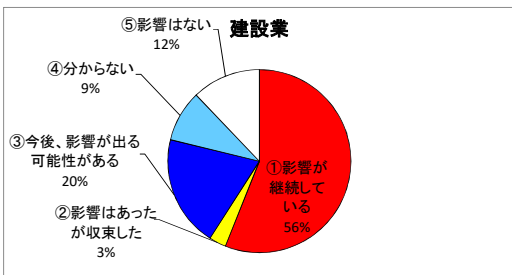
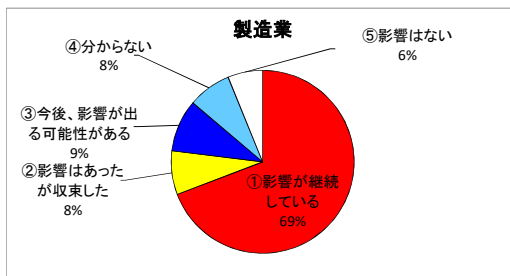
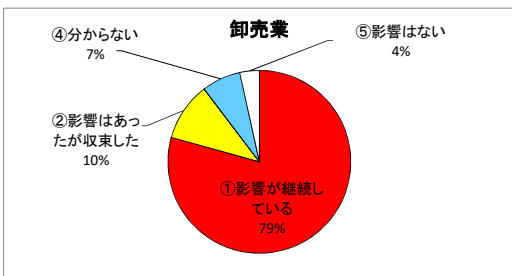
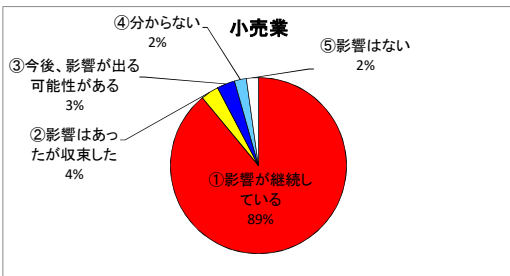
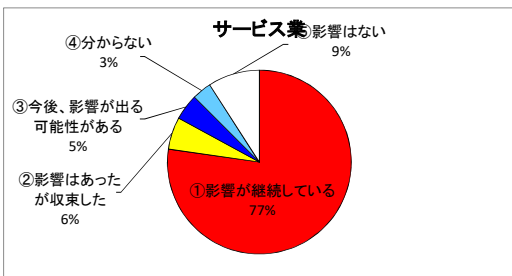
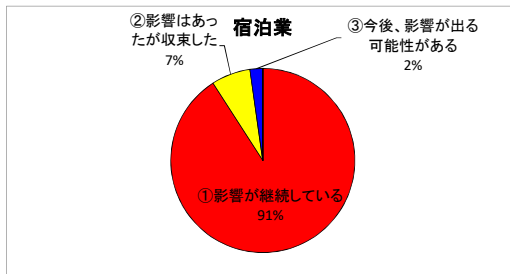
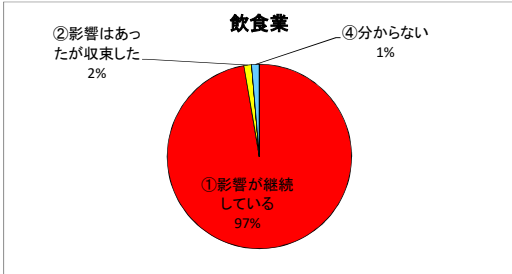
回答項目	回答数	構成割合
①影響が継続している	415	78.2%
②影響はあったが収束した	25	4.7%
③今後、影響が出る可能性がある	36	6.8%
④分からない	24	4.5%
⑤影響はない	31	5.8%
合計	531	100.0%



【業種別】

Q2 新型コロナウイルス感染症の感染拡大による御社の経営への影響はありますか。

回答項目	飲食業	宿泊業	サービス業	小売業	卸売業	製造業	建設業	運輸業	その他	合計
①影響が継続している	72	40	68	81	23	45	37	22	27	415
②影響はあったが収束した	1	3	5	3	3	5	2	0	3	25
③今後、影響が出る可能性がある	0	1	4	3	0	6	13	1	8	36
④分からない	1	0	3	2	2	5	6	1	4	24
⑤影響はない	0	0	8	2	1	4	8	1	7	31
合計	74	44	88	91	29	65	66	25	49	531



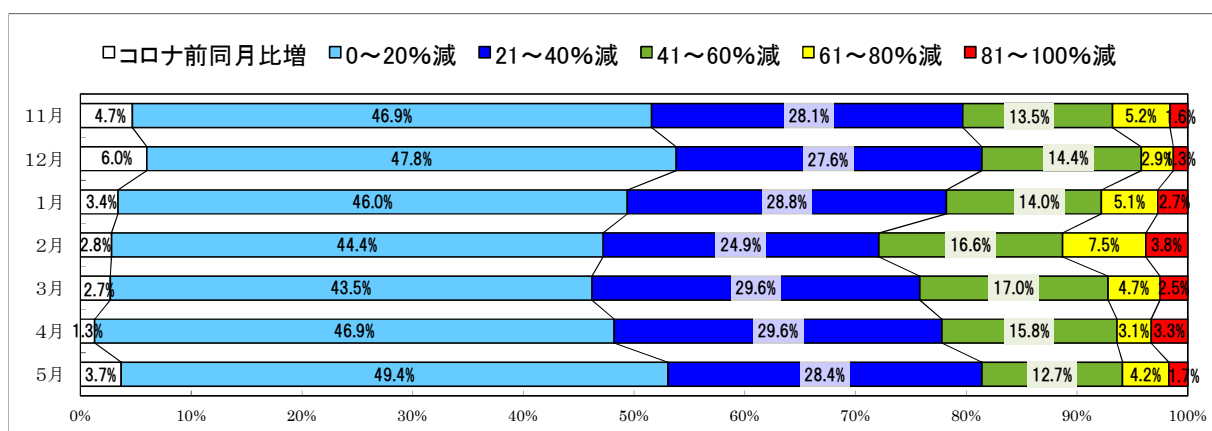
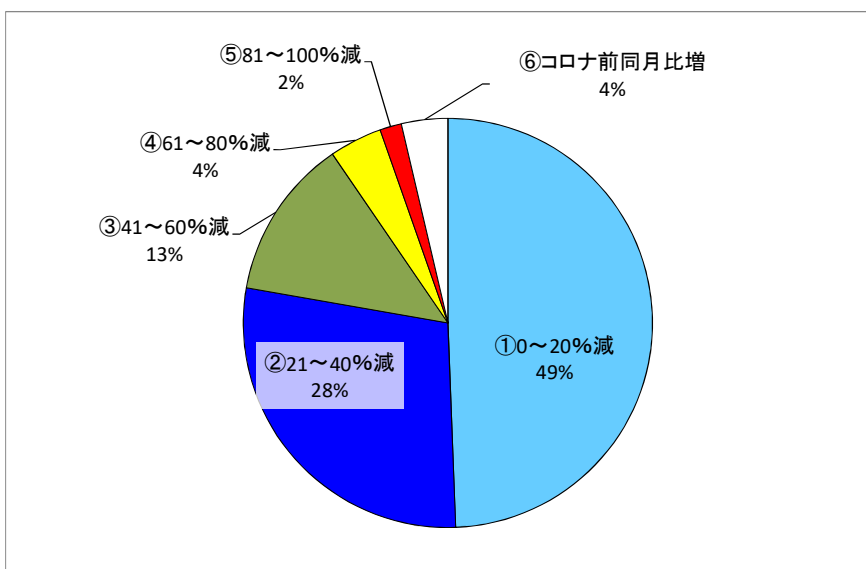
Q3 Q2で①を選択された方にお聞きします。令和4年5月の売上が、コロナ前の同月と比較してどう変化したか教えてください。

【コメント】

「①0～20%減」が最も多く、49.4%となっており、次いで、「②21～40%減」が28.4%となっている。
 「⑤81～100%減」の、ほぼ売上がない事業者も1.7%発生している。
 「41%以上減」の割合が18.6%となっており、前回調査と比較して3.6ポイント低下している。

回答項目	11月		12月		1月		2月		3月		4月		5月		(前回比)
	回答数	構成割合	回答数	構成割合	回答数	構成割合	回答数	構成割合	回答数	構成割合	回答数	構成割合	回答数	構成割合	
①0～20%減	180	46.9%	182	47.8%	190	46.0%	177	44.4%	176	43.5%	184	46.9%	202	49.4%	2.5
②21～40%減	108	28.1%	105	27.6%	119	28.8%	99	24.9%	120	29.6%	116	29.6%	116	28.4%	▲ 1.2
③41～60%減	52	13.5%	55	14.4%	58	14.0%	66	16.6%	69	17.0%	62	15.8%	52	12.7%	▲ 3.1
④61～80%減	20	5.2%	11	2.9%	21	5.1%	30	7.5%	19	4.7%	12	3.1%	17	4.2%	1.1
⑤81～100%減	6	1.6%	5	1.3%	11	2.7%	15	3.8%	10	2.5%	13	3.3%	7	1.7%	▲ 1.6
⑥コロナ前同月比増	18	4.7%	23	6.0%	14	3.4%	11	2.8%	11	2.7%	5	1.3%	15	3.7%	2.4
合計	384	100.0%	381	100.0%	413	100.0%	398	100.0%	405	100.0%	392	100.0%	409	100.0%	

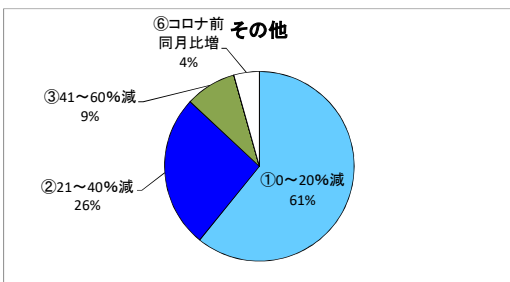
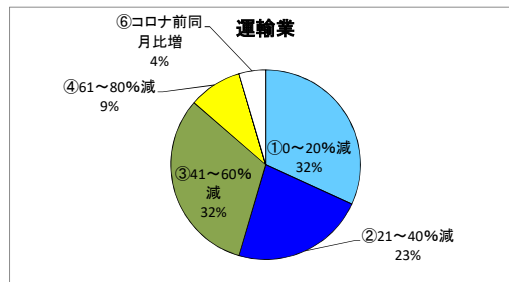
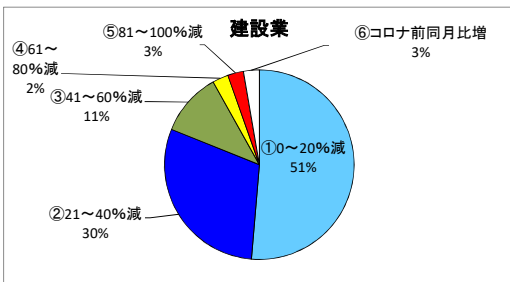
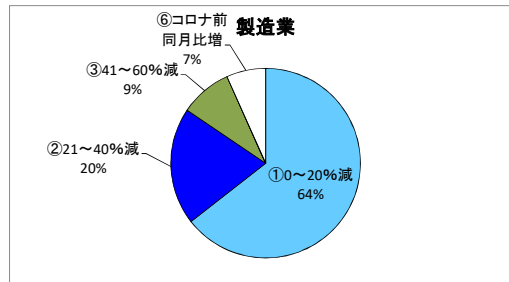
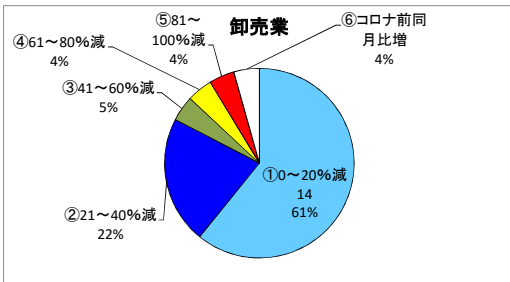
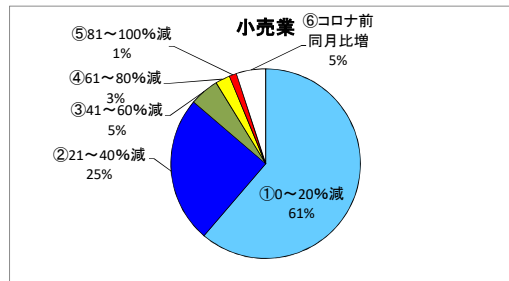
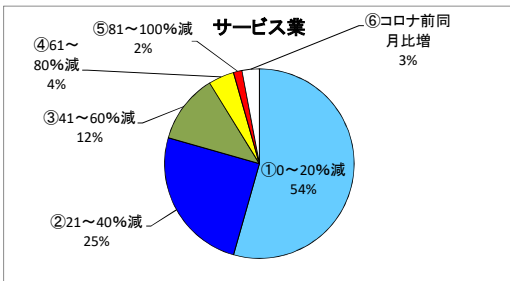
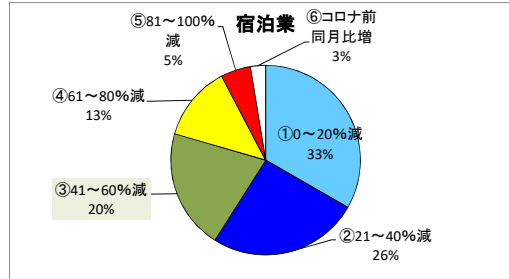
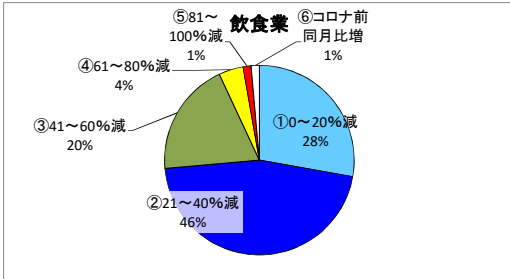
※1 回答項目⑥については、12月分まで「前々年同月比増」であるもの。



【業種別】

Q3 Q2で①を選択された方にお聞きします。令和4年5月の売上が、コロナ前の同月と比較してどう変化したか教えてください。

回答項目	飲食業	宿泊業	サービス業	小売業	卸売業	製造業	建設業	運輸業	その他	合計
①0～20%減	20	13	37	49	14	29	19	7	14	202
②21～40%減	33	10	17	20	5	9	11	5	6	116
③41～60%減	14	8	8	4	1	4	4	7	2	52
④61～80%減	3	5	3	2	1	0	1	2	0	17
⑤81～100%減	1	2	1	1	1	0	1	0	0	7
⑥コロナ前同月比増	1	1	2	4	1	3	1	1	1	15
合計	72	39	68	80	23	45	37	22	23	409

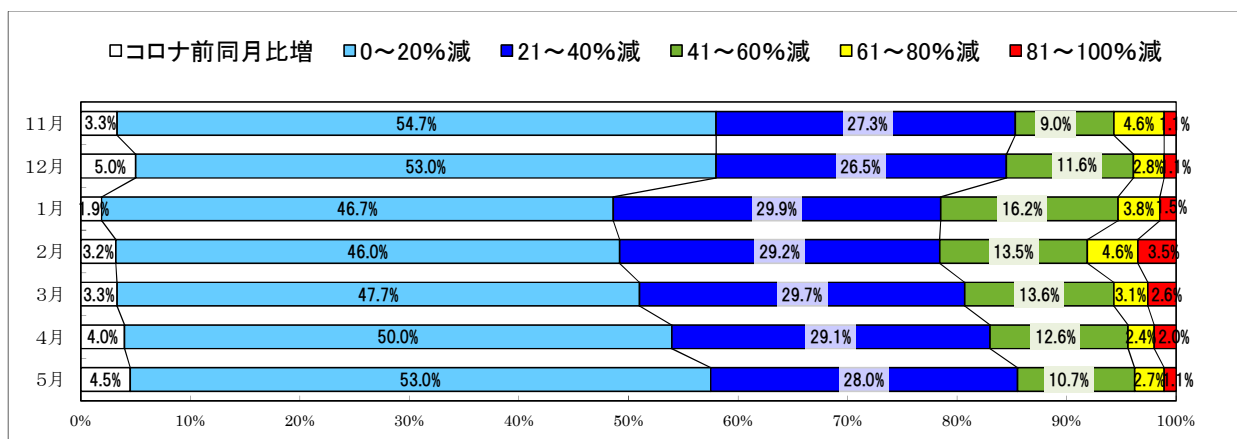
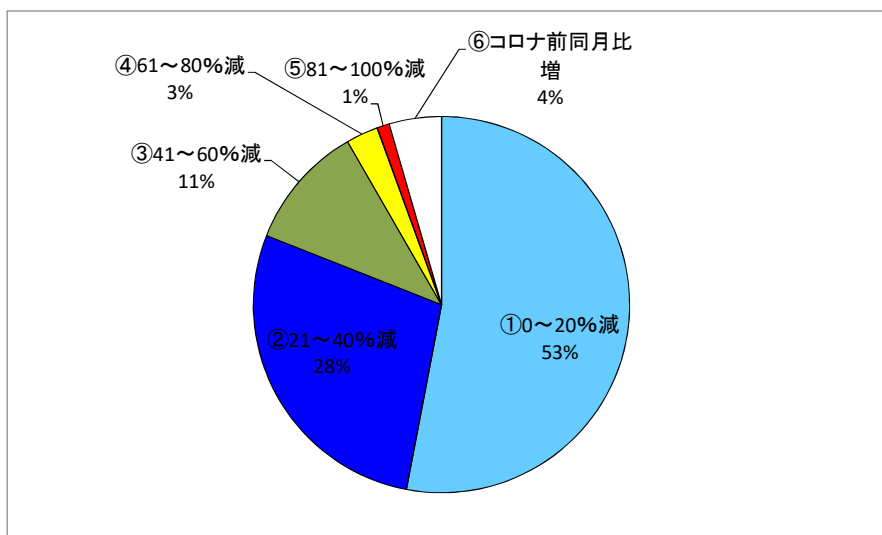


Q4 Q2で①②③を選択された方にお聞きます。コロナ前の売上と比較した今後の見込を教えてください。

【コメント】
 「①0～20%減」が53.0%と最も高く、次いで、「②21～40%減」が28.0%となっている。
 「41%以上減」の割合が14.5%となっており、前回調査と比較して2.5ポイント低下している。

回答項目	11月		12月		1月		2月		3月		4月		5月		(前回比)
	回答数	構成割合	回答数	構成割合	回答数	構成割合	回答数	構成割合	回答数	構成割合	回答数	構成割合	回答数	構成割合	
①0～20%減	249	54.7%	242	53.0%	222	46.7%	211	46.0%	217	47.7%	227	50.0%	248	53.0%	3.0
②21～40%減	124	27.3%	121	26.5%	142	29.9%	134	29.2%	135	29.7%	132	29.1%	131	28.0%	▲ 1.1
③41～60%減	41	9.0%	53	11.6%	77	16.2%	62	13.5%	62	13.6%	57	12.6%	50	10.7%	▲ 1.9
④61～80%減	21	4.6%	13	2.8%	18	3.8%	21	4.6%	14	3.1%	11	2.4%	13	2.7%	0.3
⑤81～100%減	5	1.1%	5	1.1%	7	1.5%	16	3.5%	12	2.6%	9	2.0%	5	1.1%	▲ 0.9
⑥コロナ前同月比増	15	3.3%	23	5.0%	9	1.9%	15	3.2%	15	3.3%	18	4.0%	21	4.5%	0.5
合計	455	100.0%	457	100.0%	475	100.0%	459	100.0%	455	100.0%	454	100.0%	468	100.0%	

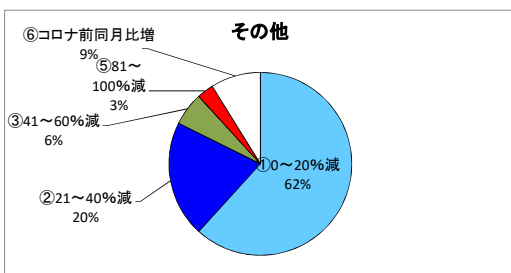
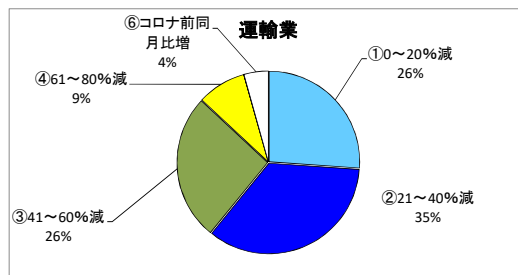
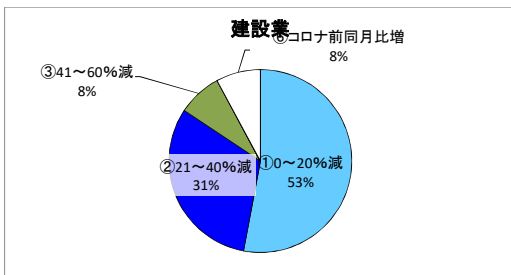
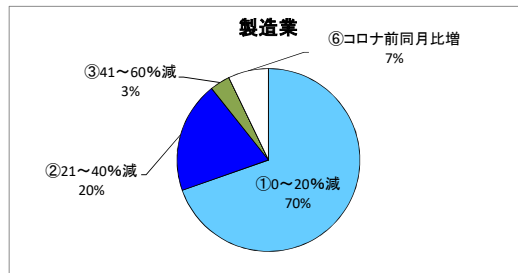
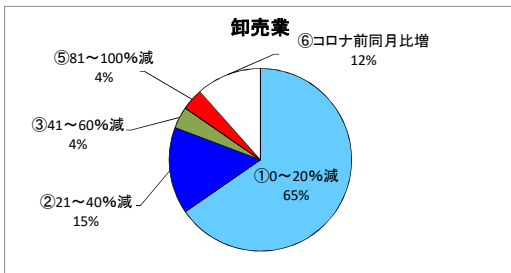
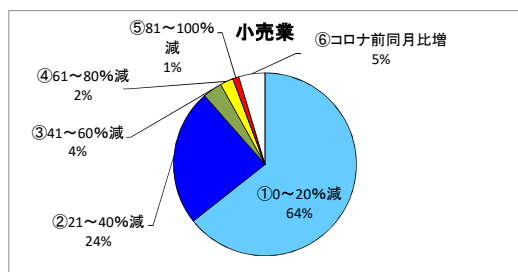
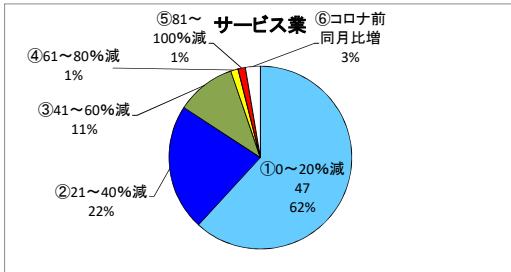
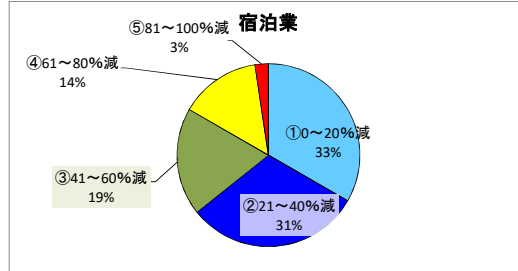
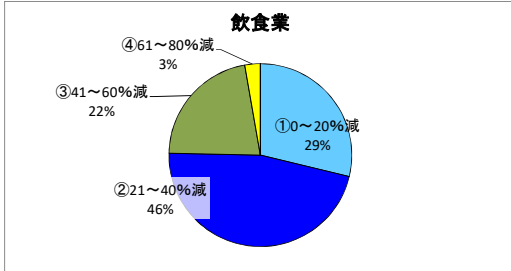
※1 回答項目⑥については、12月分まで「前々年同月比増」であるもの。



【業種別】

Q4 Q2で①②③を選択された方にお聞きます。コロナ前の売上と比較した今後の見込を教えてください。

回答項目	飲食業	宿泊業	サービス業	小売業	卸売業	製造業	建設業	運輸業	その他	合計
①0～20%減	21	14	47	56	17	39	27	6	21	248
②21～40%減	34	13	17	21	4	11	16	8	7	131
③41～60%減	16	8	8	3	1	2	4	6	2	50
④61～80%減	2	6	1	2	0	0	0	2	0	13
⑤81～100%減	0	1	1	1	1	0	0	0	1	5
⑥コロナ前同月比増	0	0	2	4	3	4	4	1	3	21
合計	73	42	76	87	26	56	51	23	34	468



Q5 今後、国や県等への支援策について要望をお聞かせください。(複数回答可)

【コメント】

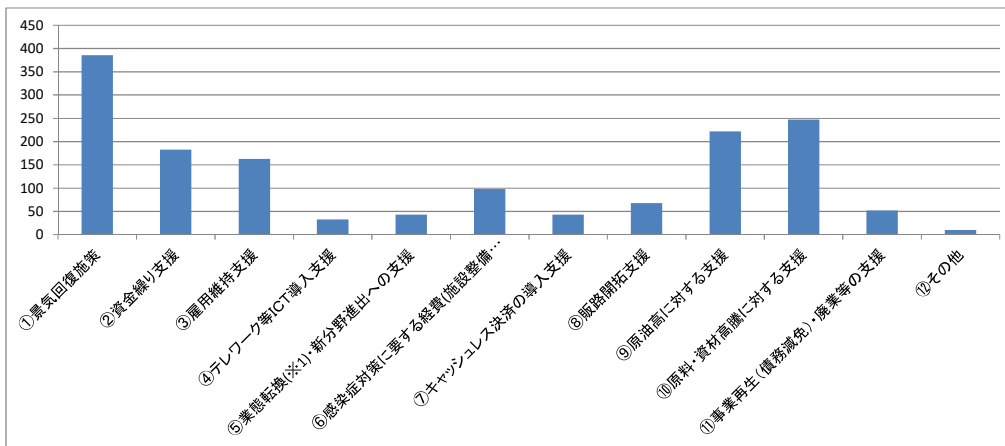
国や県への要望では、「①景気回復施策(72.6%)」が前回に引き続き最も多い。
次いで、「⑩原料・資材高騰に対する支援(46.4%)」、「⑨原油高に対する支援(41.7%)」の順に多くなっている。

回答項目	回答数	回答割合
①景気回復施策	386	72.6%
②資金繰り支援	183	34.4%
③雇用維持支援	163	30.6%
④テレワーク等ICT導入支援	33	6.2%
⑤業態転換(※1)・新分野進出への支援	43	8.1%
⑥感染症対策に要する経費(施設整備含む)への支援	98	18.4%
⑦キャッシュレス決済の導入支援	43	8.1%
⑧販路開拓支援	68	12.8%
⑨原油高に対する支援	222	41.7%
⑩原料・資材高騰に対する支援	247	46.4%
⑪事業再生(債務減免)・廃業等の支援	52	9.8%
⑫その他	10	1.9%
合計	1,548	

※1 ⑤の業態転換には、テイクアウト等営業形態の変更を含む。

※2 回答割合の分母は、回答事業者の総数(Q1の表の合計)であるもの。

※3 令和3年11月分の調査から質問項目⑨を、令和4年4月分の調査から質問項目⑩、⑪を追加。



【業種別】

回答項目	飲食業	宿泊業	サービス業	小売業	卸売業	製造業	建設業	運輸業	その他
①景気回復施策	56 75.7%	33 75.0%	63 71.6%	66 72.5%	20 69.0%	45 69.2%	45 68.2%	20 80.0%	38 76.0%
②資金繰り支援	33 44.6%	21 47.7%	24 27.3%	30 33.0%	10 34.5%	23 35.4%	21 31.8%	12 48.0%	9 18.0%
③雇用維持支援	21 28.4%	26 59.1%	20 22.7%	18 19.8%	2 6.9%	24 36.9%	21 31.8%	15 60.0%	16 32.0%
④テレワーク等ICT導入支援	0 0.0%	5 11.4%	4 4.5%	6 6.6%	2 6.9%	2 3.1%	3 4.5%	3 12.0%	8 16.0%
⑤業態転換・新分野進出への支援	9 12.2%	9 20.5%	3 3.4%	6 6.6%	4 13.8%	4 6.2%	3 4.5%	2 8.0%	3 6.0%
⑥感染症対策に要する経費への支援	16 21.6%	16 36.4%	18 20.5%	18 19.8%	2 6.9%	8 12.3%	4 6.1%	7 28.0%	9 18.0%
⑦キャッシュレス決済の導入支援	9 12.2%	5 11.4%	8 9.1%	13 14.3%	0 0.0%	0 0.0%	2 3.0%	3 12.0%	3 6.0%
⑧販路開拓支援	8 10.8%	12 27.3%	8 9.1%	15 16.5%	4 13.8%	17 26.2%	1 1.5%	2 8.0%	1 2.0%
⑨原油高に対する支援	28 37.8%	26 59.1%	35 39.8%	30 33.0%	13 44.8%	28 43.1%	28 42.4%	17 68.0%	17 34.0%
⑩原料・資材高騰に対する支援	52 70.3%	21 47.7%	28 31.8%	36 39.6%	15 51.7%	36 55.4%	39 59.1%	6 24.0%	14 28.0%
⑪事業再生(債務減免)・廃業等の支援	15 20.3%	7 15.9%	8 9.1%	6 6.6%	4 13.8%	3 4.6%	4 6.1%	3 12.0%	2 4.0%
⑫その他	1 1.4%	0 0.0%	2 2.3%	1 1.1%	0 0.0%	3 4.6%	0 0.0%	2 8.0%	1 2.0%
合計	248	181	221	245	76	193	171	92	121

※ パーセント表示の分母は、各業種における回答事業者の総数(Q1の表の数値)であるもの。

Q6 その他自由記載欄

【主な意見等】

①飲食業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 値上げの商談が急増。レストラン原価がコロナ禍前の108%。まだまだ上がる見込み(ピークは10月頃)。 ・ 緊急融資を受けた資金の返済が始まってきます。今後、据置期間の延長や返済額の見直し等について政府、金融機関の支援対策が必要。 ・ 売上は回復傾向だが、原材料高騰、電気・ガス値上げなど厳しい状況が続く。 ・ コロナの長期化により人々が外に出て飲食するのを控えることが普通になることを懸念している。 ・ コロナ支援金は終了しておりますが、何らかの支援金は必要だと思います。(2019.1～5月と2022.1～5月を比較して売上50.8%減少)
②宿泊業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2年ぶりに教育旅行が5月に実施され、仙台市より6校の中学校の利用がありました。 ・ 現在は、岩手割などのお陰で大幅な売上げの落ち込みはないし、その後、何も支援が無くなった時が心配になってきている。 ・ 原油高に対する支援策を具体化して欲しい。(電力料金等)
③サービス業	<ul style="list-style-type: none"> ・ コロナ禍になり1年ぐらいは影響を受けていなかったが、昨年ぐらから少しずつ収入が減ってきているので、支援策をもう少しばら続けて欲しい。 ・ 原油高に対する県の補助金が運送、旅客運送業だけなのは残念。他の石油(食用油等)を使用している業種が困っています。
④小売業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 少し上向きの雰囲気になってはきました。第7波が無ければと祈るばかりです。ただ、まだまだコロナ前には戻っておらず、物価高等の生活コストUPの影響も心配です。
⑤卸売業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3千品目が10%以上の値上げ、株安、円安によりインフレになると思われるが、我々経営者は賃金を上げられるほど儲かっていないところへ値上げの夏は厳しい。大企業は儲かっているが、中小企業は儲からない。中小企業に手厚い支援が必要です。 ・ 石油類の販売をしています。販売実績は低下していますが燃料価格が大幅に値上がりしているために、販売金額が減少したことにならず、補助金支援の対象とならなかった。
⑥製造業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 原材料・資材の入手難、価格上昇は解消の目途がたたない。価格上昇20%～30%を平均としており、販売価格への反映は必須。公共予算の追加補正を含め、適正な価格反映の方針を国や自治体が示す必要があると考える。公共工事などすでに予算化されたものについても実行時の情勢で価格反映できるようにしていただきたい。 ・ 当社では外国人労働者が帰国したため人員不足となっています。国には規制緩和をして外国人労働者を受け入れてほしいです。 ・ 調査項目の影響はコロナ禍が要因だけでないように考えております。世界情勢から見て戦争での影響が大きく感じます。
⑦建設業	<ul style="list-style-type: none"> ・ コロナの影響以上に、建設投資の急激な減少による競争激化の影響が大きい。 ・ 木材、建材、各資材高騰で見積等大変です。現在、今までの見積が倍ぐらいでなかなか契約できない状態です。
⑧運輸業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新しい取引先が決まりそうだけど、いつから始まるかわからなくて、それまでの資金をどうすればいいか、考え中。

新型コロナウイルス感染症に伴う事業者の影響調査票（令和4年5月分）

令和4年 月 日

〇〇商工会議所（〇〇商工会） 行

企業名：_____ 担当者名：_____

Q1 貴社の業種を教えてください

- ① 飲食業 ② 宿泊業 ③ サービス業 ④ 小売業 ⑤ 卸売業
⑥ 製造業 ⑦ 建設業 ⑧ 運輸業 ⑨ その他

Q2 新型コロナウイルス感染症の感染拡大による御社の経営への影響はありますか

(1つ選択の上、○をつけてください)

- ① 影響が継続している ② 影響はあったが収束した ③ 今後、影響がでる可能性がある
④ 分からない ⑤ 影響はない

Q3 Q2で①を選択された方にお聞きします。令和4年4月の売上が、コロナ前の同月と比較してどう変化しましたか教えてください

- ① 0～20%減 ② 21～40%減 ③ 41～60%減 ④ 61～80%減 ⑤ 81～100%減
⑥ コロナ前同月比増（ %）

Q4 Q2で①②③を選択された方にお聞きします。コロナ前の売上と比較した今後の見込を教えてください

- ① 0～20%減 ② 21～40%減 ③ 41～60%減 ④ 61～80%減 ⑤ 81～100%減
⑥ コロナ前同月比増（ %）

Q5 今後、国や県等への支援策について要望をお聞かせください（複数回答可）

- ① 景気回復施策 ② 資金繰り支援
③ 雇用維持支援 ④ テレワーク等ICT導入支援
⑤ 業態転換(テイクアウト等営業形態の変更含む)・新分野進出への支援 ⑥ 感染症対策に要する経費(施設整備含む)への支援
⑦ キャッシュレス決済の導入支援 ⑧ 販路開拓支援
⑨ 原油高に対する支援 ⑩ 原料・資材高騰に対する支援
⑪ 事業再生(債務減免)・廃業等の支援 ⑫ その他（ ）

Q6 その他自由記載欄

※本調査の集計結果については、こちらからご覧いただけます。



※ ご協力ありがとうございました。この調査に係る個人情報については、本調査以外の目的には使用いたしません。

※ QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。